

6. 指導過程

段階	学習活動・内容	時間	○教師の支援 ◎評価	資料
つかむ	<p>1. どんなつくり方をするのか調べよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>縄文土器に挑戦しよう</p> </div> <p>○図書室や博物館で調べよう。 ○焼き物について詳しい人に聞いてみよう。 ○どんな材料が必要なのかな。</p>	10分	<p>○博物館資料「縄文土器」を提示してその特徴をとらえさせ、児童の関心や意欲を高める。 ○縄文土器のつくり方について、事前にグループ等で調べさせておく方法もある。また、不足している点があれば、学芸員に補足してもらおう。</p>	縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器等の比較
ためす	<p>2. 形づくりをしよう。</p> <p>○細いひも状の粘土を土器の形にしていくのは難しいね。 ○下の方はうまくいったけど、上の方はバランスがとりにくいね。</p> <p>3. 実際に焼いてみよう。</p> <p>○どうやって火をおこしたのかな。 ○焼きあがるまでどのくらいの時間がかかるのかな。 ○割れないように焼くためには何かコツがあるのかな。</p>	120 ( 180 )	<p>○粘土のひもを巻き上げていく方法、粘土の輪を積み上げていく方法などで挑戦してみる。その後、竹べらなどででこぼこを直し、縄を転がし縄目をつける。 ○わらなど事前に準備しておく。  ○600℃ぐらいで3時間程焼く。 ○焼き上がったあとはできれば1日くらいそのままにして、自然に冷ます。</p>	
まとめ・生かす	<p>4. つくった土器を使ってみよう。</p> <p>○ものを煮たり焼いたりできるのかな。 ○食料などをためておくには便利だと思うよ。 ○他のものもつくってみたいな。</p>	20	<p>○この体験をきっかけとして、人々の食生活の変化の様子や、土器や装飾品・武器の変遷などにも関心を持たせていきたい。  ◎縄文土器づくりをとおして、縄文時代の人々のくらしに興味・関心を持つことができたか。(観察)</p>	飾りや祀の道具 狩りの道具